



動物レスキュー通信

2020年9月 第88号 (令和2年9月1日発行)

発行元
一般財団法人 国連世界動物救済支援機構 詩月財団

詩月(しづく) : 詩月財団 理事長
愛玩動物飼養管理士 一級
ペット災害危機管理士 三級
お問い合わせ : sizuku.foundation@gmail.com

マナーとしつけ しつけに大切なこと



新型コロナウイルスの感染拡大により新しい生活様式として、マナーを守るようにしきりに言われています。人との距離を保つ、マスクを着用する、大声で話さない、手洗い、手指の消毒、こまめな換気などが推奨されていますが、このマナーもどこまで徹底すればいいのか、個人個人で基準が違ってきますので、判断に困る部分も出てきます。自粛警察やマスク警察などと呼ばれる、このマナーを気にしすぎるあまり、攻撃的になって身体的にも精神的にも他人を傷つけてしまう人もいます。そんなマナーに関することは人間だけではなく、ワンちゃん、ネコちゃん、そして飼い主さんにも関わってきます。飼い主さんと愛犬、愛猫だけと暮らしていくのであればマナーは関係ないかもしれませんが、散歩をしたり来客があったりと、第三者とワンちゃん、ネコちゃんが関わる機会が必ず出てくるはずですし、愛犬、愛猫と飼い主さんが安心、安全かつ幸せに暮らしていくためにはある程度のしつけを行い、マナーを守ることが非常に大切なこととなります。人間とワンちゃん、ネコちゃんは違う動物であり、ワンちゃんにはワンちゃんの社会、ネコちゃんにはネコちゃんの社会のルールが存在します。しかしワンちゃん、ネコちゃんと飼い主さんが人間の世界で共生するためには、ワンちゃん、ネコちゃんに、少しだけ人間社会に歩み寄ってもらうなくてはなりません。例えばワンちゃんにとって「吠える」と言う事はワンちゃん同士の「コミュニケーション」を図るためにはとても大切なことですが、人間の社会では騒音問

題などと捉えられ、ご近所さんとの人間同士のトラブルにも発展しかねません。ネコちゃんにとつて、自宅の柱や家具などで爪を研ぐことは、自分の縄張りだと周りに知らしめる自然な行為ですが、飼い主さんにとつては困った行動に感じてしまいます。そんな飼い主さんが感じる「困った」を減らすために大切なことがしつけなのです。また、災害が多い日本では、避難生活を強いられる可能性もあります。その際の同行避難に備えておくという意味合いもあります。

有効なしつけ方法

母親、父親が子供にしつけをする際に、してはいけないことを叱る方法と、良いことをしたときに褒める方法があり、時と場合によって使い分ける人もいます。ワンちゃん、ネコちゃんの場合には必ず後者の「良いこと」をしたときに褒める「しつけ」を行います。してはいけないことを叱るしつけ方法だとワンちゃんもネコちゃんもしつけに対する恐怖を覚えてしまい委縮し、しつけの時間を嫌がるようになってしまったりです。褒めるしつけの場合は、良い行動をとった場合におやつを与えたり、思い切りかまったりあげたり、その行動を強化することができ、ワンちゃん、ネコちゃんは「しつけは楽しいもの」と認識し、自ら進んで良い行動をとるようになります。そうなるワンちゃん、ネコちゃんと飼い主さんの信頼関係がどんどん深まっていきます。有名な実験「ベルを鳴らして、犬にエサ

を提示する手続き(パブロフの犬)これは本来関連のない刺激が、もともと関連付けられていた刺激と結びついて新しい関連付けが起る学習行動の事で古典的条件づけ、いわゆる条件反射です。良い行動をとったときに「いい子」「グッド」などと声をかけてあげるとは報酬となります。しかし初めから言葉の意味を理解しているのではなく、学習をすることで理解します。「いい子」と声をかけた後にすぐにおやつを与える、と言うようなしつけを行った場合、「いい子」の言葉「おやつがもらえる」と理解するようになります。その自分にとつての報酬を期待して普段から褒められる行動をとるようになります。そしてワンちゃん、ネコちゃんにとつた行動によつて、結果が起る頻度を変化させる学習法を「オペラント条件づけ」と言い、オペラント条件づけには「正の強化(いいことが与えられる)」、「負の強化(嫌なことが与えられる)」、「負の罰(いいことがなくなる)」の4つの分類があります。この中でしつけに活用するのは「正の強化」で、これは「ほめるしつけ」です。行動の結果、報酬がもらえると、ワンちゃん、ネコちゃんは自発的にその行動をとるようになります。しかししつけに失敗してしまっているケースでは、飼い主さんが気付かないうちに「正の罰」、「負の強化」、「負の罰」を与えてしまっている可能性があります。そうならないように「ほめるしつけ」を意識して、タイミングよくほめてあげて、トラブルなどを発生させず、共生しやすい関係を築いてあげましょう。

飼い主さんとワンちゃん、ネコちゃんが良好な関係を築くことが、不幸な子を減らす一歩につながっていくと信じて活動して参ります。(詩月)